

『創造都市を創造する』

47. [理論・政策] 「世界創造都市フォーラム 2007 in OSAKA」(記録)(2007年10月24-27日) 2007年10月24日(水)から27日(土)までの4日間の日程で、「世界創造都市フォーラム 2007 in OSAKA」が開催された。

同フォーラムは、三つのパートから構成されていた。初日は、大阪国際交流センター(天王寺区)において「創造都市連携フォーラム」が開催され、大阪市を含め海外の都市政策者による多様な取り組みの報告が行われた。続いて2日目・3日目には、国際シンポジウム「新・都市の時代—創造都市の連携と発展を求めて」が開催され、「創造都市と文化的多様性」「創造都市における芸術家の役割」「創造都市と創造クラスター」をテーマに、セッションごとに国内外の様々な専門分野の研究者2名ずつの報告・提言の後、パネリストと会場の参加者も交えた討論が行われた。最終日・27日(土)は、場所を大阪市役所1階 玄関ホールに移し、ワークショップ「メディアアートと大阪の可能性」と題して、CGアーティスト 河口洋一郎氏(東京大学大学院情報学環教授)によるセミナーと意見交換がなされた。同空間でメディアアートが紹介されるような活用は初の試みであり、空間の新たな可能性を感じさせるものとなった。